

2025
Nov-Dec

東京パスポート学院 ニュースレター 2025年11-12月号

T.P.A. Newsletter

今月号のご案内

P1 お知らせ

P2-3 コラム “AI”

P4 ハロウィンイベントのご報告

Winter 

早いもので、今年最後のニュースレターとなりました。
本年も、多大なご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様にとって、今年はどうのような一年でしたでしょうか。
年を重ねるごとに、一年が過ぎるのが驚くほど早く感じられます。「チョコちゃんに叱られる」の番組で、「一年が早く感じるのは”トキメキ”がなくなったから!」と紹介していました。心がどのくらい動くかが時間の感じ方に影響し、大人になると日々同じことの繰り返しが多く、印象に残る出来事が減るため、一年があっという間に過ぎてしまうそうです。常に好奇心を持ち、ワクワクする気持ちを持ち続けたいものですね。当校でも、未知のことを知ったり、新しい驚きがあるレッスンやイベントを提供し、少しでも皆様にワクワクしていただけるように努めたいと思います。

来年も変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

❁ 冬休みのお知らせ ❁

2025年12月22日(月)~2026年1月3日(土)

※この間の振替レッスンはございません。

◆Book Club 特別講座

今年で15年目となるブッククラブ。

大人対象 全4レッスン 入門~上級クラス

期間:11月25日から12月20日

申込締め切り:11月12日(水)

ご自身の英語レベルに合ったリーダーで、無理なく楽しく洋書を読むことができます。また、ストーリーを通して英語が身につきます。ご興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。

◆Adult Christmas party 2025

今年もスクールにてクリスマスパーティを開催いたします。
お食事とお酒を楽しみながら楽しい時間を過ごしましょう。
ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

対象:大人クラスの生徒様とご友人・ご家族

12月13日(土) 6:30 pm~ 8:00 pm

場所:東京パスポート学院

参加費:1,800円 B.Y.O スタイル

申込締め切り:12月1日(月)



◆東京パスポート学院(TPA)生徒のご紹介コーナー

Anちゃん(写真上) 小学生クラス

在籍 3年3か月

Ruiくん(写真下) 幼児クラス

在籍 7か月



感想(お二人のお母様より)

姉のAnは3歳から通っています。

当時は人見知りが激しく、TPAでも無言で、英語を楽しんでいる様子はありませんでした。無理をさせているのかな...?と、やめることを考えました。でもこのままやめたら英語が楽しくないで終わるかもと思い、ノートに絵辞典のようなものを書き、Anに渡しました。それがきっかけになったかわかりませんが、少しずつ英語の扉が開き始めたように見えました。続けられるかな...?と様子をみながら、今に至ります。今では、英検受けたいと言ったり、今日のレッスン楽しかった!と帰ってきたり、英語で先生たちと挨拶をしていたり。TPAを通じて成長していく彼女が頼もしい限りです。

弟のRuiは自由奔放な3歳児なので、レッスンに参加できるのか心配でした。ですが心配をよそに、最初から楽しく参加していました。RuiはTPAのことを「ハロー」と呼んでいます。最近は、「ハロー(TPA)今日行くの? やったー!」と毎週の楽しみになっているようです。いつの間にか色を英語で言えるようになっていたり、よく、「これはハローでは何て言うの?(英語では何て言うのかという意味です)」と聞いてきます。楽しく通えるように工夫してくださっている先生方、そしていつも助けてくれるクラスメイトには感謝の気持ちでいっぱいです。

スクールより

ありがたいコメントをありがとうございます。Anちゃんは周りをよく観察していて、いつも集中して静かにレッスンに参加していました。英語を話し始めたきっかけはお母様の愛のこもった英語ノートでした。Anちゃんが笑顔でなわとびをしている絵に"jump rope"と書かれていたり、ひとつひとつの単語に心のこもった絵が描かれていて、それを毎週Anちゃんが見せてくれるようになりました。そうして、Anちゃんからどんどん英語が出てくるようになり、自信につながっていききました。今ではあの頃が嘘のようにたくさんお話してくれます。Anちゃんがなかなか話し出さない期間、ご心配だったことと思いますが、Anちゃんのペースを信じてサポートし続けて頂いたこと、本当に感謝しております。Rui君もどんどん英語を吸収していて、お二人の成長が本当に楽しみです。



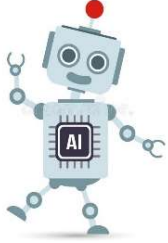
当校LINE公式アカウントにご登録下さい。

「英会話 TPA東京パスポート学院」



TPA Newsletter

November - December 2025



This month your teachers are discussing AI.

今月は AI について講師たちが話します。



AI has been under development for a long time now, but with the creation of ChatGPT, AI is now directly in everyone's hands. We can use AI for many things and it is being developed and improved daily. At first I asked ChatGPT to create funny and unique stories about my friends and I was impressed with how well it could write these stories. Now AI can create images, give advice and help us with research.

AI は長年にわたり開発が進められてきましたが、ChatGPT の登場によって、今では誰もが AI を利用できるようになりました。私たちは多くのことに AI を使うことができ、しかもそれは日々開発されていて、進化しています。私は、まず ChatGPT に、私の友達について面白くてユニークなストーリーを作ってもらいましたが、その完成度にとっても感心しました。今では AI は画像を作ることも、アドバイスをすることも、研究を手伝うことさえもできてしまいます。

A lot of people are worried about what the future will be like with AI but I am mostly optimistic. Teachers and professors are worried that students can just ask AI to write a paper for them. To combat this teachers will need to ask students to use their own voice when writing. Students will have to come up with their own ideas and express their own opinions in their writing. If the paper isn't personal, the teacher will think it was written by AI. This will also make the teacher read the paper more carefully and become better able to understand how much knowledge the student has.

多くの人が AI の未来を心配していますが、私は大部分では楽観的です。教師や教授たちは、学生が AI に論文を書かせてしまうのではと懸念しています。その対策として、教師は学生に自分自身の考えを書くように要求する必要があります。学生はレポートには、自分で考えを思いつき、自分自身の意見を述べなくてはならないでしょう。もしそのレポートが個人的なものでなければ、教師は AI が書いたと思うことでしょう。こうすることで、教師もまたこれまで以上に丁寧に論文を読むことにもなり、学生がどれほどの知識を持っているのかをより理解できるようになるでしょう。

I decided to enter the Tokyo marathon next March. Training for a marathon is difficult. This will be my first marathon and I want to learn how to run a marathon. AI can make a personal training plan, give expert advice and help to improve running form. I want to improve my running form so that I can run faster and more efficiently. I can send a video of me running to AI and it can analyze my running form and help me improve. Although I still think it is better to get running advice from a human expert, it is interesting that AI can help. This would not have been possible a few years ago.

私は来年 3 月の東京マラソンに出場することを決意しました。マラソンのトレーニングは大変です。今回が初めてのマラソンなので、マラソンの走り方を学びたいです。AI が自分専用のトレーニングプランを作ってくれたり、専門的なアドバイスをくれたり、ランニングフォームを良くするのも役立ちます。私はより速く、もっと効率的に走ることができるようにランニングフォームを良くしたいと思っています。私は自分が走っている動画を AI に送ると、ランニングフォームを分析して、改善する手助けをしてくれます。専門的な人間からランニングのアドバイスを受けることの方が良いとは思いますが、AI が役に立つということは興味深いです。数年前まではこんなことは不可能でした。

- Paul

If we use generative AI responsibly, it can be a useful tool. It shouldn't replace human expertise and experience. A student writing an essay can use AI as a tool to brainstorm, research or outline. Using AI to generate the entire essay so you can copy and paste it is not so good. Something else to consider, AI makes simple mistakes. You have to check all of its output which may defeat the purpose of saving time in some cases. I rarely use AI. I find it less helpful to cut out a big part of my creative process. Also, the significant ethical concerns and environmental cost of generative AI give me pause. However, I don't think it's wise to ignore AI completely. This technology is not going anywhere. We are going to see AI built into what we do more and more and as we continue down this path, it makes sense to know how it works.

生成 AI は責任をもって使うのなら、役立つツールとなり得ます。しかし、人間の専門知識や経験を生成 AI へと置き換えるべきではありません。エッセイを書く時に学生は、AI をアイデアを出すためのブレインストーミングとしてやりサーチに、また構成を考えるためのツールとして使うことができますが、エッセイ全てを AI に作成させて、ただコピーしてペーストすることはあまり良いこととは言えません。他にも考慮すべき点では、AI は単純な間違いをします。作られた内容はすべて確認する必要があり、結果的に時間の節約にならない場合もあります。私はめったに AI を使いません。なぜなら、AI を使って自分の創造的なプロセスの大部分を失ってしまうことは、あまり有益だとは思いませんからです。また、生成 AI には倫理的問題や環境負荷の懸念もあり、使うことを躊躇しています。とはいえ、AI を完全に無視するのも賢明とはいえません。このテクノロジーがなくなることはありません。今後この先、私たちは AI がさらに私たちの活動の中に組み込まれていくことを目の当たりにするでしょう。だからこそ、AI がどのように機能するかを理解しておくことは大切だと思います。

- Insaaf



Happy Halloween 🎃



TPA Kids Halloween 2025

今年のハロウィンイベント当日は、あいにくの雨となり、姉妹校のすくすくワールドをお借りして、室内でのイベントとなりました。TPA のスタッフの他、すくすくワールドのクリスティも参加して盛り上げてくれました！

素敵なコスチュームを着た子ども達とマカレナダンスを踊ったり、ハロウィン障害物レースや、ハロウィン風輪投げを楽しみました。

今年は、外で宝探しをする予定で、250 個のキャンディをキラキラの紙に包装して準備していましたが、宝探しの代わりに子ども達に向けてキャンディをばら撒きました。子ども達は興奮して必死にキャンディを取っていました🍬

イベント終了後、雨が止んだため、グリーンスプリングスまでパレードをしました。もちろんトリックオアトリートも楽しみました！

毎年、保護者の皆様にはコスチュームのご準備から送迎までご協力を頂き、本当に感謝しております。今年は残念ながらインフルエンザ流行と重なってしまい欠席者が多くでました。今年参加できなかった人も、ぜひ来年の参加を楽しみにしております！



Candy Catching

キャンディを四方八方に投げて、子供たちは拾ってキャンディをゲットします！



Trick or Treating



Macarena Dance 🎵



Witch's hat ring toss 魔女の帽子輪投げ



Eyeball Spoon Race 目玉運びレース！



Parade